

神奈川自衛隊音楽まつり2016

神奈川地本カレッジ防衛モニター 榎木 達志

3月6日(日)。平成27年度カレッジ防衛モニターとして最後の活動、初めて私達が行事に関わることとなった神奈川自衛隊音楽まつり。あいにくの曇天に時折小雨がちらつく天候となったが、会場前から多くの人が列をなしていた。私達モニターはスーツで昼前に集合し、昼食のお弁当を頂きながら、ブリーフィングを受けた。私達の仕事として伝達されたのは、一般入場口でのパンフレットの配布、一時入退場口での誘導、ホール入口の開演前規制の警備だったのだがホール入場規制は隊友会の方々が引き受けて下さったため、私達は入退場に専念しつつ、参加者への対応に専念することとなった。この行事は、入隊・入校予定者への激励会も兼ねたものであり、入隊・入校予定者やその保護者の方々も多くいらしていた。留年までした大学生である自分よりも、4年、5年も下の青年たちが入隊・入校するのかもしれないと思うと、敬意を表さずにはいられなかった。

開演前になると、私達も予め渡されていた座席票を持って入場し、座席に着いた。国歌斉唱の後、神奈川県副知事を含め来賓の方による入隊・入校予定者への激励が述べられた。演奏が始められた。激励会の際、起立して後席の一般参加者へと振り向き、ライトアップされたその姿は、緊張と不安を抱きながらも、凛々しく力強かった。今回は、県内の学校の団体も参加し、より一般市民との繋がり、共存を強く印象に残すものとなった。プロジェクト等々の舞台演出もあり、収容人数2千人程度の小規模なホールではあるが、入隊・入校予定者への激励の熱気が溢れんばかりに満ちていた。

大学主催の企業説明会で自衛隊の魅力をアピール

神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 酒井一海尉)は、3月15日(火)、レンブラントホテル厚木において東京工芸大学主催の工学部企業説明会に参加し、多くの学生に対し自衛隊の魅力をアピールした。

本説明会は、平成29年3月に卒業する学生が、各企業等の採用情報を収集することを目的として実施されたものである。

当日は、多くの学生が自衛隊ブースに詰めかけ、担当広報官は、組織力、職種の多さ、やりがい等の説明を行った。学生からは「採用種目が多く、どれも魅力があつて素晴らしい」という感想や、「採用後、自衛官に求められることは？」等の質問があった。また、「大学の研究内容が国の防衛に直結できることは誇りだ」という修士学生もおり、学生に自衛隊の魅力を大いに伝えることができた。

厚木募集案内所は、「今後も、大学の企業説明会に積極的に参加し、多くの学生に自衛隊の魅力を伝えて興味を持ってもらい、募集目標達成に繋がられるよう努力する」としている。